

<金標準、米国の信用低下で逃避の円高が上値を抑える・・・>



(出所：オアシス)

トランプ大統領は全輸入品に10%の相互関税と56ヶ国の貿易黒字国に対して高関税の相互関税を発表している。特に市場は相互関税が低水準の思惑を強めていただけに、高関税の不確実性が高まり、リスク逃避が強まる動きを見せたが発表から13時間後には穏健派であるベッセント財務長官の意見を受け90日間の発動延期の大統領令に署名している。しかし中国に対しては相互関税145%を課し、そのため中国も週末に米国に対して125%の関税を12日に課すと発表している。特に市場はトランプ大統領の関税の不確実性が高まり、米国に対する信用度が低下、米国債から資金が逃げ出しており、株価の下落と合わせて信用リスクが高まっている。そのため行き場を失った流動性資金が安全な金市場へ流れており、NY金は週末に史上最高値を更新するなど3300ドルに向けて動いている。ただ金標準は週末に15000円を回復しているが、逃避の円高が続いており、円建て金価格にとって上値を抑える要因だけに15000円以上の戻りは抑えられる値動きに注意が必要に思える。

<テクニカル>

金標準先物の日足のMACDでは、MACDが上昇し、シグナルも下げ止まっている。RCIでは短期が上昇し、長期は切り下げている。特に日足が10日移動平均線を上回るも平均線は横ばいしており、再度14750円に向けた修正に注意が必要に思える。

このレポートはお客様への情報提供を目的としています。情報に関しては正確を期するよう最善を尽くしておりますが、内容の正確性、信憑性に関し保証をするものではありません。利用にあたっては自己責任の下で行って下さい。売買の判断はお客様御自身で行って下さい。

○商品デリバティブ取引は最初に委託者証拠金等の預託が必要で、その額は商品によって異なりますが、最高額は1枚当たり通常取引 1,050,000 円(2025 年 4 月 14 日現在)です。また、委託者証拠金は相場変動や日数の経過により追加預託が必要になることがあり、その額は商品や相場の変動によって異なります。○商品デリバティブ取引は相場の変動によって損失が生ずることがあります。また、実際の取引金額は委託者証拠金の約 10 倍から 70 倍と著しく大きいため、損失額が預託している委託者証拠金の額を上回ることがあります。○商品デリバティブ取引は委託手数料がかかり、その額は商品によって異なりますが、最高額は 1 枚あたり往復 68,640 円(2025 年 4 月 14 日現在)です。手数料額は相場変動により増減する場合があります。

当社(商品先物取引業者)の企業情報は当社本・支店及び日本商品先物取引協会で開示しています。お取引についての御相談は、当社顧客サービス担当(東京)電話 03-5540-8423 (受付時間:平日 8:30~17:30)
証券・金融商品あっせん相談センター <https://www.finmac.or.jp> 日本商品先物取引協会相談センター
<https://www.nisshokyo.or.jp>